



とちぎ自民党議員会報 vol.9

令和2年度の当初予算編成に当たり、とちぎ自民党議員会では、85重点事業の予算要望と46項目に及ぶ政策要望をまとめ栃木県知事に提言いたしました。
その結果、令和2年度当初予算8,373億7,000万円のうち**33億5,382万円**の増額を実現しました。
私たちが特に重点的に取り組んだ事項について、ご報告申し上げます。

新型コロナウイルス感染症に関する緊急要望書を提出しました

私たちは、国内での新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、県内での感染拡大を防止するため、県民や事業者に対し感染予防対策の更なる徹底を図るとともに、**県民の不安解消に取り組むよう、知事に対し9項目の緊急要望書を2月に提出**いたしました。
今後も喫緊の課題が発生した際には、必要な対策を講じるよう、時機を逸することなく提言して参ります。



私たちは、「実行力」。

台風被害からの早期復旧に向けて堤防強化緊急対策プロジェクトを実現しました

令和元年東日本台風による豪雨は、県内各地の河川等の公共土木施設や農地等に甚大な被害をもたらしました。
とちぎ自民党は、県民の不安を払拭するために、災害からの復旧・復興に最優先に取り組むことが重要と考え、早期に復旧工事を進めていくとともに、今後も頻発が想定される災害に備え、原形復旧工事にとどまることなく、積極的に改良復旧事業の導入に取り組むよう要望いたしました。
加えて、私たち会派では、さらなる県民生活の安全・安心を担保するため、河川の堤防強化や、遊水地の整備など治水対策に積極的に取り組むことが必要と考え、特に、緊急に補強が必要な堤防については、**〈実行力その1〉県単独事業で重点的に取り組むよう「堤防強化緊急対策プロジェクト事業」の実施を提言し、30億円(うち自民党上乗せ20億円)の予算化を実現**しました。



野生鳥獣被害対策を推進するとともに、CSF(豚熱)の初回ワクチン接種の無料化を実現しました

野生鳥獣による農林業や生態系等への被害が深刻化・広域化していることから、県・市町や関係団体等との更なる協力のもと、被害を軽減させていくことが急務であります。
私たち会派では、CSF(豚熱)の感染源の一つとも言われている野生イノシシの捕獲の促進に向けて、河川敷での移動経路を寸断するための緩衝帯整備経費として、**「地域ぐるみの総合的な鳥獣対策促進事業費」4億6,144万円(うち自民党上乗せ3,000万円)の予算化を実現**しました。今後もICTの活用等による効果的な捕獲方法の検討や捕獲の担い手の確保・育成に努め、更なる鳥獣害対策に積極的に取り組んで参ります。
また、**〈実行力その2〉県内でのCSF(豚熱)感染防止のために、県内すべての飼養豚への予防的ワクチンの初回接種に係る費用の減免を要望し、全額免除を実現**しました。



シカに皮はぎされた樹木

農産物のブランド力強化を進め、園芸大国とちぎの実現を目指します

本県農業の成長産業化を進め、更に発展させていくためには、水田を活用した収益性の高い園芸作物への転換を推進するとともに、いちごやなしなどの施設園芸についても、より一層の強化策を講じるほか、多様なニーズに対応できる集出荷施設の整備等により、産地の体質強化を図っていく必要があります。
私たち会派では、**ニラ、アスパラガス等の施設整備への支援や、いちご王国プロモーションを強化**するため、「**園芸大国とちぎづくり推進事業費**」12億1,217万円(うち自民党上乗せ8,200万円)の予算化を実現しました。
また、大嘗祭に供納された県産米「とちぎの星」について、全国から注目が集まっていることから、この機を逸することなくブランド力の強化に繋げていくには、さらにPR経費が必要と考え、**〈実行力その3〉「とちぎの農産物ブランド力強化推進事業費」7,563万円(うち自民党上乗せ1,000万円)の予算化を実現**しました。



ニラ・アスパラガス等の施設整備支援費 6,000万円
いちご新産種生産拡大 1,200万円
いちご王国プロモーション経費 1,000万円
とちぎの星プロモーション経費 1,000万円

教育環境の更なる向上に向けて、県立学校施設の長寿命化を実現します

県立学校施設については、「栃木県立学校施設長寿命化保全計画」等に基づき、計画的に長寿命化が図られていますが、老朽化が著しい施設が多く、早急に改修を進めていく必要があります。
私たち会派では、**特に特別支援学校の整備が必要と考え、「県立学校施設長寿命化推進事業費」14億2,379万円(うち自民党上乗せ7,300万円)の予算化を実現**しました。
また、令和元年度(実行力その4)9月補正予算に対する要望において、**県立学校の特別教室等への冷房設備設置の予算化も実現**しており、今後も安全で快適な教育環境の整備を促進して参ります。



県内経済の持続的な発展に向けて、未来技術の導入を実現します

人口減少や少子高齢化が進む中、地域の課題を解決するだけでなく、人手不足の解消に向けても、IoTやAI、ロボット等の未来技術の導入・活用が期待されています。
また、イノベーションの急速な進展により経済社会が大きく転換するSociety5.0の実現に向けて、本県経済の持続的な成長・発展を図るためにも、未来技術の導入による生産性の向上や新たな付加価値の創出等が求められています。
私たち会派では、**〈実行力その5〉ビッグデータを活用したプラットフォームの構築や未来技術の実証事業の誘致を促進するため、「未来技術等社会実装促進事業費」7,236万円(うち自民党上乗せ642万円)を実現**しました。
あわせて、新年度、総合政策部に新設される「デジタル戦略部」において、未来技術の活用を更に推進させ、県民サービスの更なる向上を図っていくよう引き続き求めて参ります。



全国で初となるプラスチックに特化した条例を議員提案で制定しました

プラスチックは、いわゆる資源ごみの中でも特に身近なものであり、再生利用が高度に発達している分野でもあります。
栃木県議会では私たち自民党を中心に、**全国で初めてプラスチックに特化した「プラスチック資源循環推進条例」を制定**しました。県と県内25市町が共同で宣言した「プラごみゼロ宣言」を後押しし、資源循環をより推進する取り組みを進めて参ります。



栃木県政に対するご意見・ご要望は、私たち自民党栃木県議会議員へどうぞ

とちぎ自民党議員会

〒320-0033 栃木県宇都宮市本町1-22
(自民党栃木県連)
TEL.028-622-4100 FAX.028-622-3400

〒320-8501 栃木県宇都宮市塙田1-1-20
(とちぎ自民党議員会)
TEL.028-623-3708 FAX.028-623-3725

●とちぎ自民党ホームページ▶▶ とちぎ自民党

検索

本紙面は、とちぎ自民党議員会の政策調査活動と現時点での結果を報告し、県民の皆様から、本会及び本会所属議員にご意見ご提言をお願いする双方向通信を目指して作成致しました。皆様から恩恵のない声をお寄せいただきませう、お願い申し上げます。